



「ESG情報開示実践セミナー」

ブラックロックのサステナビリティへのアプローチ
インベストメント・スチュワードシップの役割とサステナビリティ投資の取り組み

ブラックロック・ジャパン株式会社
インベストメント・スチュワードシップ部長 江良 明嗣
サステナブル投資推進部長 内藤 豊



**ブラックロックは2020年
1月にサステナビリティを
投資の新たな基軸として
据えることを宣言。**

Source: BlackRock Sustainable Investing, January 2020.

サステナビリティを投資の新たな基準に

1

ESG インテグレーション

ブラックロックの様々なアセットクラスと運用スタイルを対象に、投資プロセスにサステナビリティ情報やデータを組み入れる取り組み

2

サステナブル投資 ソリューション

顧客の経済的リターン目標の実現に向けて、サステナブル投資のソリューションを提供

3

リサーチ

環境、社会、ガバナンスの課題が投資リスクと長期的なリターンに与える影響を分析

4

データと テクノロジー

サステナブル投資のための先駆的な金融テクノロジーの開発

5

スチュワードシップ

長期の経済的パフォーマンスに影響を及ぼすサステナビリティ課題について投資先企業と対話・議決権行使

6

コーポレート サステナビリティ

自社の長期的なサステナビリティ課題への取り組み

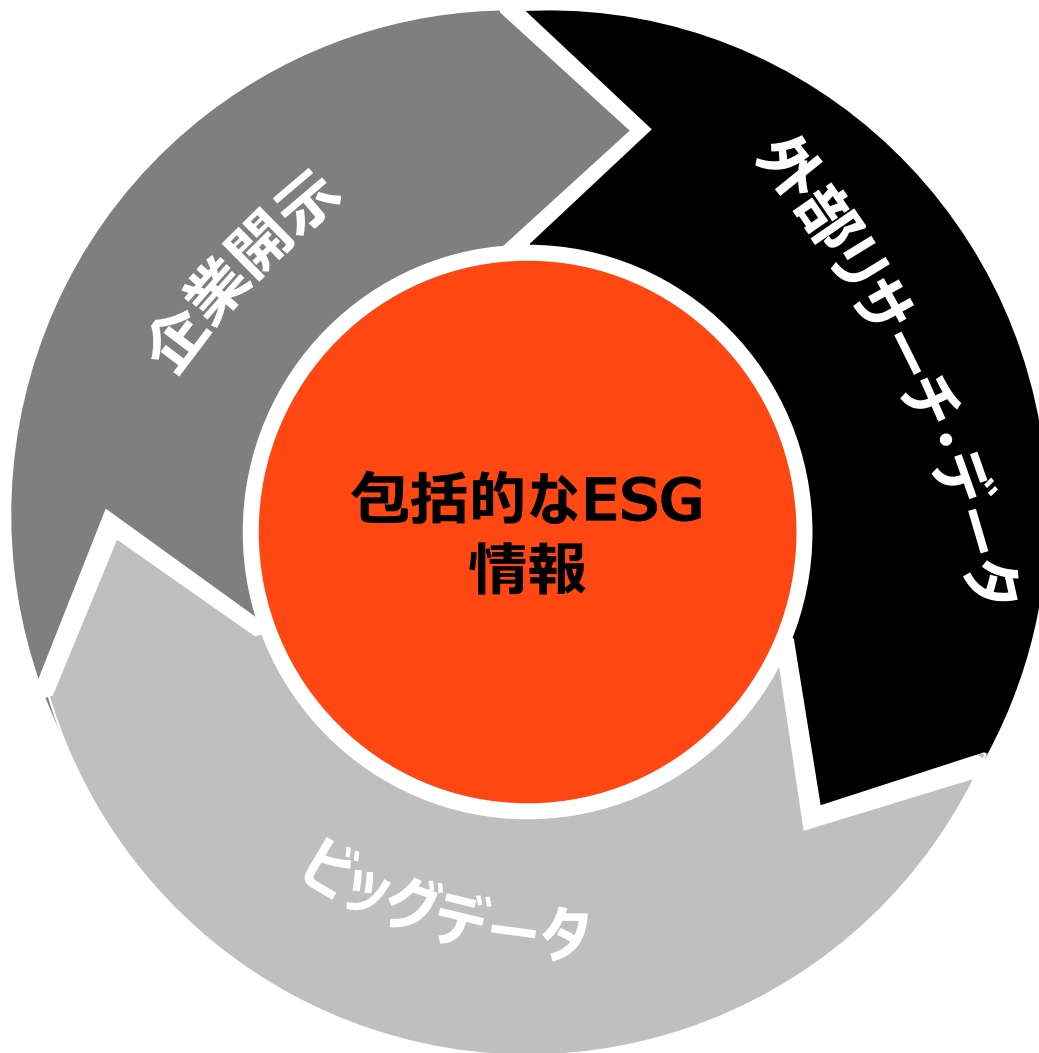
Source: BlackRock Sustainable Investing, April 2020. For illustrative purposes only.

ESG情報の活用方法と課題

投資判断におけるデータ活用のアプローチ

スチュワードシップ活動

データ分析の考え方とアプローチ



- **複数のデータソース**

データ量が多いほどより有利との考えに基づき、情報源を1つのプロバイダーに限定せず幅広く網羅。

- **不均一なデータに対応**

データソース、プロバイダー、尺度により異なるデータの質に対応すべく、最適なデータ分析のアプローチを採用。

- **多目的にデータを活用**

マテリアリティの追究を主な目的とし、同時にデータを運用報告、開示や投資家との対話においても活用。

Source: BlackRock Sustainable Investing, June 2020. For illustrative purposes only.

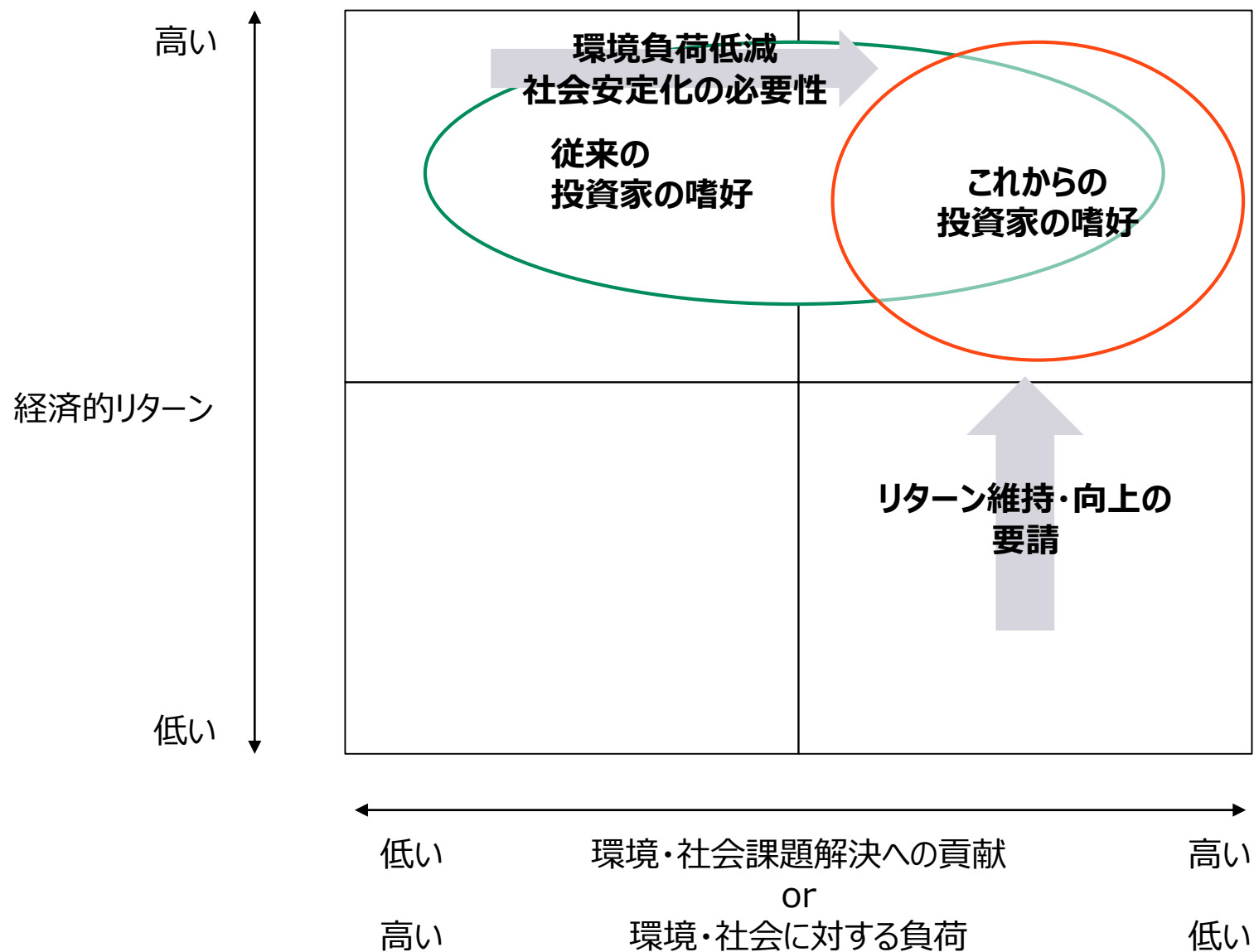
ブラックロックにおけるサステナブル投資の分類方法

動機	回避型			
	推進型			
手法	スクリーニング	ESG		インパクト投資
		ESG全般型	テーマ型	
戦略目標	ESGの観点から懸念があるビジネスに関与している特定の企業、セクターを投資対象から除外	ESG全般のパフォーマンスに基づき投資銘柄を判断	E、S、及びGを個別にテーマとする投資、もしくはSDG課題を追求	経済的リターンに加え、環境や社会的成果、もしくはSDGを推進する上で、測定可能でポジティブなインパクトを創出することを目的とする
サステナブル投資ソリューションの事例	- カスタムソリューション：セパレートアカウント、スクリーニング手法を取り入れたコmingルファンドを活用 - ベースラインスクリーニング：大多数の投資家のスクリーニング基準を満たすことを目的とした商品	- ESGスコアの最適化：親指数を狭いレンジ内のリスクでトラックする一方で、ESGの観点からより優れた企業へのエクスポージャーを最大化するインデックス戦略 - ESGベストインクラス：ESG評価の高い企業を投資対象とする投資家向けのより確信度の高いインデックス戦略 - ESG運用：ESGの知見を用い、リスク調整後リターンの改善を目指すアルファ戦略	長期的な業界のトレンドと移行を捉え投資機会とする戦略： - 環境（E）フォーカス - 社会（S）フォーカス - ガバナンス（G）フォーカス	資産クラス横断的にインパクトを創出するすべての戦略： - 上場株式 - 債券 - 実物資産

Source: BlackRock Sustainable Investing, June 2020. The above information is for illustrative purposes only and should not be interpreted as investment advice or recommendation.

投資家の期待値の変化（イメージ）

投資家は、経済的リターンに対する期待値を維持しつつ、サステナビリティ課題における要請を強めている。



スチュワードシップ活動における重点項目

- 長期的経営の羅針盤のような存在となるのが、各企業のパーパス
- ESGを含む長期的経営に関する重要事項について関心が強い
- 長期的な視点を持ちながら、複数年度にわたって対話することを重視
- 対話の際には、投資家向けIR・SR資料に加え、統合報告書も積極的に活用

PURPOSE パーパス

取締役会の実効性

気候変動
リスクと機会

経営戦略と
資本政策

長期目線を持った
役員報酬

人的資本

気候変動リスクをより一層重視



物理的リスク

気候変動によってもたらされる災害等による急性・慢性の影響



移行リスク

低炭素経済・社会への移行に伴う政策・法規制の変化や、消費者行動の変化等によってもたらされるリスク

物理的リスクを最小限にとどめると同時に、低炭素社会に備え、自社のビジネスモデルをアップデートすることで、移行リスクを新たな収益機会に変える経営が求められる。

まとめ

社会・ステークホルダーとの調和

- 事業にとって重要なステークホルダー（社会、従業員、株主、消費者）との調和を高度に保ちながら、高い成長性・収益性を実現する高度な経営が求められる時代に。

リーダーシップ ガバナンス の重要性

- パーパスに基づく長期経営戦略の策定とモニタリング
- 外部目線も踏まえた経営の重要性
 - 特に、気候変動課題をはじめとする重要な経営課題と考えられるサステナビリティに係る議論（リスクと機会両面）を中長期的な事業戦略や投資案件審査においてどのように組み込むか

情報開示

- 定量分析を重視する運用戦略では開示情報の網羅性、比較可能性も重要
- 一方で、より重要なのは情報開示の背景にある取り組み内容、すなわちガバナンス及びマネジメント体制の実効性や事業戦略策定における意思決定プロセス
 - 経営層だけでなく、全社的に認識を浸透させるための情報開示
 - TCFD等の国際的フレームワークの活用も有用

免責事項

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人投資信託協会 日本証券業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

ホームページ <http://www.blackrock.com/jp>

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

Tel. 03-6703-4100(代表)

本資料はブラックロック・ジャパン株式会社がJPX ESG Knowledge Hubにおいて、ブラックロックのサステナビリティへのアプローチ、ESG情報の活用方法と課題について説明する目的で作成したものであり、投資一任契約及び投資助言契約等の締結並びに特定の商品への投資等を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されたブラックロック・ジャパン及びブラックロック・インクを含むグループ会社(以下、「ブラックロック」という。)の意見・見解は、本資料作成日時点におけるものであり、今後予告なく変更される場合があります。本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、弊社はその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された運用実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。また、本資料に掲載されたブラックロックの意見、見解は、本資料作成日時点で入手された情報、あるいは予想等をもとに構成されておりますため、今後の経済動向や市場環境等の変化、さらに金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、今後、予告なく変更されることがあります。

弊社が投資一任契約または投資信託によりご提供する戦略は、全て、投資元本が保証されておられません。弊社がご提供する戦略毎のリスク、コストについては、投資対象とする金融商品等がそれぞれの戦略によって異なりますので、一律に表示することができません。従いまして実際に弊社戦略の提供を受けられる場合には、それぞれの提供形態に沿ってお客様に交付されます契約締結前交付書面、目論見書、投資信託約款及び商品説明書等をよくお読みいただき、その内容をご確認ください。

本資料の著作権は、ブラックロックに帰属し、全部または一部分であってもこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。